

全国の生地、ボタン……1万点販売

ネットで「繊維問屋街」

丸井織物開設

織布メーカーの丸井織物（石川県中能登町）は、全国の生地メーカーなどが生産した繊維商材を、アパレル業界に販売するサイトを立ち上げた。繊維商材に特化した「ネット上の問屋街」のイメージで、大手の委託生産から脱却し、企画、製造を自ら手掛けようとする繊維企業を後押しする。

同社のサイト「テキスタイルモール」は、大手メーカーなど約20社が参加する。瀧名古屋（名古屋）や宇仁繊維（大阪市）、田村駒（同）など全国各地の繊維企業20社が手掛ける生地、レース、糸、ボタンなど約1万点を扱う。注文は

1頁単位から受け付け、1反、2反でも対応し、ほとんどの商品について、購入前にサンプルの取り寄せもできる。

今後さらに出品企業を増やし、将来的には10万点ほど扱えるようにする。サイトのアドレスは、<http://tex-mall.jp/>

主な購買層は一般消費者ではなく、最新の素材を大量に必要とするデザイナーや手芸店を想定する。丸井織物によると、業界向けのサイトはまだ珍しく、需要

開拓が見込まれる。反応は上々で、既にサンプルの請求があるという。担当者は「販路を築く第一歩として利用してもらいたい」と話した。